

プログラム(1日目) 11月17日(金) 第1会場 大会議室

●開会式 10:00-10:10

●一般演題① 10:10-11:00

「動注1」

座長：小尾 俊太郎（帝京大学ちば総合医療センター 内科）

高口 浩一（香川県立中央病院 総合診療科）

01-1 肝細胞癌骨転移部にたいして New FP（NFP）で治療を行い PS 改善が得られた 3 症例

太田 寛人（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

01-2 進行肝細胞癌に対する New FP 療法

～埋め込みリザーバーと簡易リザーバーを用いた治療成績の比較～

永松 洋明（順天堂大学医学部 消化器内科）

01-3 高度門脈浸潤を伴う HCC に対する ReMAP を用いた New FP 療法の初期治療経験

清水 翔（奈良県立医科大学 放射線診断・IVR 学講座）

01-4 アテゾリズマブ+ベバシズマブ後の当院での肝動注療法の成績

佐藤 塁（静岡県立静岡がんセンター）

01-5 Atezolizumab+bevacizumab 併用療法不応例における肝動脈留置型カテーテルによる New FP 療法の初期経験

小川 遼（さいたま市立病院 放射線診断科）

●共催セミナー 1 11:10-12:00（共催：株式会社メディコン）

「がん薬物療法における CV ポート活用の現状と今後の対策

～がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン 2023 年度版を参考に～」

座長：濱本 耕平（自治医科大学附属病院 画像診断科）

演者：菅野 かおり（日本看護協会 神戸研修センター 教育研修部）

●肝動注の臨床試験：今何ができる？ 13:10-14:10

座長：佐藤 洋造（愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）

『薬物療法全盛期の中における New FP 療法に関する現実的な前向き試験案』

岩本 英希（久留米大学医学部 消化器内科／岩本内科医院）

『アテゾリズマブ・ベバシズマブと Low dose FP の併用療法の前向き試験の進捗について』

上嶋 一臣（近畿大学病院 消化器内科）

『肝動注と全身薬物療法の併用～現状と今後』

森口 理久（京都府立医科大学 消化器内科）

『ReMAP を用いた肝動注の臨床試験の提案』

田中 利洋（奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR 講座）

● **一般演題② 14:10-15:00**

「動注 2」

座長：竹内 義人（市立福知山市民病院 放射線科）

板野 哲（久留米中央病院）

02-1 肝動脈の解剖学的変異を伴うびまん性肝細胞癌に対するダブル肝動注リザーバー留置の検討

入里 真理子（愛知県がんセンター）

02-2 下腹壁動脈からの動注リザーバー <解剖学的見地から>

新楨 剛（静岡県立静岡がんセンター IVR 科）

02-3 反復的・間欠的経動脈治療を可能とする大動脈留置型特殊リザーバーポート ReMAP の有用性の検証

岩本 英希（久留米大学医学部 消化器内科／岩本内科医院）

02-4 Remap の導入経験について

出口 章広（香川労災病院）

02-5 進行頭頸部癌に対する multiple-catheter implantation method の有用性

大前 政利（りんくう総合医療センター）

● **共催セミナー 2 15:10-16:00**（共催：中外製薬株式会社）

「進行肝細胞癌患者にゲノムプロファイリング検査は必要か」

座長：稲葉 吉隆（愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）

演者：寺島 健志（金沢大学先進予防医学研究センター）

● **一般演題③ 16:10-17:00**

「動注3」

座長：貞岡 俊一（杏雲堂病院 放射線科）

末吉 智（済生会中和病院 放射線科）

03-1 ReMAP 経由で New FP 療法を行った進行肝癌の 1 例

由良 典子（市立福知山市民病院 臨床研修センター）

03-2 New FP 療法および atezolizumab+bevacizumab 併用療法に不応であったが、lenvatinib と ReMAP を用いた反復動注療法を併用し病勢制御が得られた肝細胞癌の一例

森山 悦子（久留米大学）

03-3 Atezolizumab+Bevacizumab 併用療法後に急速増大した VP4 巨大肝細胞癌に対して ReMAP を用いた集学的治療で奏効した一例

板野 航（久留米大学病院 臨床研修センター）

03-4 System-i を用いた反復 IVR 治療後に ICI 治療を導入してほぼ完全奏効が得られた切除不能肝細胞癌の 2 症例

板野 哲（久留米中央病院）

03-5 ReMAP を用いた全身化学療法不応後の大腸癌肝転移に対するイリノテカン溶出性ビーズ TACE と間欠的大量 5-FU 動注の併用療法

豊田 将平（奈良県立医科大学附属病院 放射線・核医学科）

● **イブニングセミナー 17:10-18:00**（共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社）

「最新のイメージング技術を駆使した IVR」

座長：佐藤 洋造（愛知県がんセンター 放射線診断・IVR 部）

演者：田中 利洋（奈良県立医科大学附属病院 放射線診断・IVR 講座）

プログラム(1日目) 11月17日(金) 第2会場 セミナールームA/B

● 世話人会 9:10-10:00

● ランチョンセミナー 1 12:10-13:00 (共催:エーザイ株式会社)

(2部制)「肝細胞癌における集学的治療の意義を考える」

座長:稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター 放射線診断・IVR部)

『薬剤多様性時代におけるカテーテル治療を組み合わせた集学的治療戦略』

岩本 英希 (久留米大学医学部 消化器内科/岩本内科医院)

座長:工藤 正俊 (近畿大学医学部 消化器内科)

『肝細胞癌における肝動注化学療法 Positioning』

池田 公史 (国立がん研究センター東病院 肝胆膵内科)